

新入会員のご紹介



南西支部
(株) えがお
代表取締役
加藤佐智子さん
介護事業



スタッフが働きがい
を持てる良い会社を
作るため、同友会で
学びていきたい

会員企業紹介

QRコードよりHPもご覧ください。ぜひご連絡してみてくださいね(〃)/



お客様の困りごとには
何でも対応するタイヤプロショップ

荒井タイヤ
マネージャー
荒井功さん
【タイヤ販売業】
・他店にはない対応力
・大型車(10t車)対応の設備導入
・タイヤ保管場所の増設



生徒の「こうなりたい」を叶えるパソコン教室



(株) 大河技研
パソコンアカデミーステップ
【パソコン教室・
システム開発業】
・学び方を自分でカスタマイズ
・関連会社との連携
・外部発信強化



法律に関する手続きならどんな相談でも 満足して貰える司法書士事務所



伊藤司法書士事務所
司法書士
伊藤拓也さん
【司法書士業】
・士業間連携でお客さまサポート
・M & A対応に注力
・事業承継セミナー開催



犬のことを一番に考えたYouTuberドクトレーナー



ワンダフルパートナー
代表
碓崎正悟さん
【犬のしつけ・
ペットホテル業】
・群馬県で動物保護施設立ち上げ
・YouTube登録者約7万人
・動画での隣接業種とのコラボ



生まれて初めて触れるアートを提供する 伝統と革新の企業



(有) 桂雛
代表取締役
小佐畑孝雄さん
【節句等人形製造販売業】
・BtoBの割合が増加
・社内生産で利益率アップ
・地域の職人(伝統工芸)と連携



不易流行の精神で地域に根ざす100年企業



(株) イチハラ商会
代表取締役
市原薫さん
【事務用品販売・卸売業】
・市場の変化を実感
・大手量販店が取り扱えない商品対応
・防災備品など取扱商品外部発信



No.323 2023年6月1日

DOYU IBARAKI



発行:茨城県中小企業家同友会
〒310-0851 水戸市千波町1918 セキショウウェルビーイング福祉会館3階
Tel:029-243-8230
Fax:029-243-7225
Mail:info@ibaraki.doyu.jp

第24期経営指針を創る会開講

【第1講】2023年5月13日(土)
セキショウウェルビーイング福祉会館にて



受講生にとって
より良い指針創り
の場となり、委員
・OBと共に学び、
自社の発展につ
ながる会にして
いきたい

自分の言葉を見つけ
自分しっかりと落とし込める
経営理念を見つけてほしい

この激動の時代を
中小企業がどのよ
うに変化に対応し
ていけるのか、一
緒に探究してい
きたい

講師 伊藤史純先生
(株) Co-Lab

新規受講生 9名
再受講生 3名
委員・OB 37名

1年間、頑張ります(〃)ゞ



テラキ住建
寺本 正博さん

(株) ハウジングアイ
伊藤 友之さん

(有) 松屋仏具店
松野 聖史さん

(株) 八百邦
田所 鉄舟さん

つくばアグテック(株)
杉山 武裕さん

(有) しまランドリー
川野邊 恵美さん



(株) 菊正塗装店
鈴木 大介さん

(有) 長野園
花水 理夫さん

(株) 千成屋
矢内 久子さん

(株) 加藤木工
加藤 宜之さん

(有) 内山味噌店
内山 庄栄さん



フィードバック研修会

2023年6月13日(火)19:30~21:00 in福社会館
会社発展のための地力を鍛える
フィードバック入門



経営者と会社の明日を
ちょっと良くする研修です

2023年度幹部社員研修会

申込受付中! 【第1講】2023年6月30日(金)10:00~17:00

組織発展の要である幹部社
員の育成とフォロー、自社の
理念を理解し、先導する幹部
社員を育成する研修です



【編集後記】10年以上前に放送され、DVDも買って何度観たか分
からないくらい好きなら「リッチマン、ブアーマン」その中
で社長が部下に「指示された仕事のその先まで出来て、完璧とい
うんだ」という1シーンが、未だに胸の真ん中にズドンと刺さります。
満足したらそこで終わる。何の成長もない。日々の生活でも多方向
にアンテナを張り巡らせ、新しいモノを吸収し、変化を受け入れ
進む。想い描くありたい自分にはまだほど遠いけど、『今ここに
ない未来は自分で創る』この社長の言葉が私のコアです。(Shimo)

4月例会報告

例会参加申し込みは
e.doyuから!!



日立支部

4月5日(水)日立シビックセンター (Zoom併用)
報告者: 田山 進一さん (有)スタジオデン 代表取締役
『経営指針は羅針盤』



私たち経営者は一度決めた方針や計画であっても、日々見直しや検討は続けなければなりません。それは1人でも出来るかもしれませんが、田山さんの様に同友会をフルに活用する事で、自分でも気づかないような多角的な目線から物事を捉える事が出来たり、常に学びとろうという姿勢さえあれば、他社のやり方から新しい何かに気づく事もあると思います。今回田山さんの体験報告を聞いて、田山さんにとって本当にたくさんの気づきがあった指針作りや例会作りだったんだなーと皆さんも感じていると思いますが、これほどの気づきを得ることが出来たのは田山さんだけに訪れたチャンスではないと思います。つまり、例会や指針作りであったり、しっかりと同友会活動に真剣に取り組んでいく事が自社発展の近道であるという事を改めて認識させてくれる田山さんの報告でした。このあとは実践に向けて取り組んでいく田山さんと共に、同友会の会員全員が同友会と自社の発展を目指してみんなで頑張っていければと思います。



6/7(水)久慈サンピア日立
報告者: 掛札武志さん

県央海浜支部

4月21日(金)ひたちなか商工会議所 (Zoom併用)
報告者: 高村 尚志さん (株)リレーション 代表取締役社長
『ガラス窓の向こうの空模様は大荒れ
～ガラス屋さんの未来はどっち～』



ガラス工事をメインに、大手ゼネコンの一次下請けを主で営業されています。元請け事態の受発注形態の変化。更にコロナ禍、材料資材の高騰と市場環境が変化する中で非常に方向性に悩んでいました。環境の変化の中で改めて現状分析を中期の計画にどう落とし込んでいくか、時代の変化がより加速度的になっていく中で、自社の現状を今まで以上に定期的に見直していく事が問われるというテーマでの報告でした。一社依存の脱却は必須ですが、計画の定期的な見直しのスパンも早めていかなければならない。強みはあるうちに次の強みを育てていく、強みと競争優位な部分に隣接したピボットで、価格決定権のある領域をつかっていく。そして、やはり「どうありたいか」があり、実現するためのビジョンがあり、将来を見越してのファナシスや採用、社員教育が、不確定要素や外部要因を振り払えるほどの強靱な経営体質をつくる事だと改めて思います。それらを考えに考え抜いてとにかくどうにかするのが経営者の役割。社員にとって希望ある会社にするため、どうにかしていきましょう!



6/12(月) ひたちなか商工会議所

水戸支部

4月26日(水) 絆のよき・わかき - イグ 福祉会館
報告者: 松井 祐一郎さん (株)松井建設 代表取締役
『そこに未来はあるか?』



例会発表の打合せで会社に伺った時、松井社長から衝撃の言葉が飛び出しました。それは、後●年で良質な砂が取れなくなるんだよね!という事実。必要にしてる人はたくさんいるのに「売れるものがない」そんなこと考えたことがなかった...そして、売れるものなくなることは会社の存続に関わる、そこでタイトルは「そこに未来はあるか?」になりました。今回は①売れるのに売れるものがない②今まで売っていたのに売れなくなった③買ってくれる人が商圏からいなくなった、という状況をふまえて自社の将来を再考していただく時間になればと内容を組み立てました。参加できなかった皆さんも考えてみませんか?



6/28(水)福祉会館
報告者: 高橋啓介さん

南西支部

4月25日(火)つくば研修支援センター (Zoom併用)
報告者: 小宮 敦士さん (株)小宮造園 代表取締役
『共に生きる組織を手に入れる! ~個人的経営からの脱却~』



今回の例会は、小宮さんに3つのテーマをもって報告を行っていただきました。①経営って? ②組織って? ③気持ちが悪くなる時は? 経営指針書を策定して3年がたった今、こんなはずじゃなかった。「10年後の...」で想い描いたものとは違う。赤字経営、社員が思うように動いてくれない。ただ指針書を作って止まっていただけ、指針書を再度開いた時3年前に答えが書いてあったと気づいた小宮さん。持ち前の素直さと行動力で指針書の実践を行いました。赤字分析や収支の見方、社員との向き合い方や想いの共有、指針書を作った時に戻り社員に伝えました。そして新たに「行動基準」という社員と共有するルールを指針書に加えて今後大きく動き出すぞ!という報告を頂きました。3つ目のテーマ「気持ちが落ちている時は」仲間に相談をすること、常にポジティブなところに身をもっていくこと、これが我々経営者にとっての活力の源だと体現してくれた報告となりました。



6/27(火) つくば研修支援センター
報告者: 柴田香里さん

県西支部

4月24日(月)坂東市商工会館 (Zoom併用)
報告者: 稲毛田 英樹さん (株)三和食鶏 代表取締役
『逆境を進む! 圧倒的なピンチ! その時どうする?!』



主要原料の1割以上が鳥インフルエンザの殺処分によりなくなってしまった食鶏処理業界。この影響は我々の生活にも大きく影響しています。そんな未曾有の危機のなかどうやって事業を継続していくのか! こんな時に問われる強靱な経営体質! いったいどんな備えをしていけばこの大きな難局を乗り越えられるのか! 株式会社三和食鶏グループ全体での取り組みと先代が築いた強靱な経営体質の仕組みをお話いただきました。G討論では各社が自社に置き換えて、実際に経営危機となる資源・リスクを確認し合い、そこに対してどのような活動を行っているかを話し合い、今の状況が明日もある訳ではない事を再認識した例会となりました。



6/29(木) ヤクルトはなももプラザ
報告者: 稲毛田拓也さん

ドラゴン支部

4月17日(月)牛久市商工会館
報告者: 稲毛田 英樹さん (株)三和食鶏 代表取締役
『外国人実習生という選択肢』



人手不足問題をどのように解決するのか? という問いに、三和食鶏さんは外国人実習生に活路を見出しました。近年、外国人実習生の労働環境が問題になっている中、30名の実習生を預かっている稲毛田さんは、母国のご両親から大切な子どもたちを預かっているという信念のもとに、働きやすい労働環境を整え、外国人実習生との絆を作り、素晴らしい関係性を築いています。そこには、労使関係以上の絆を感じてなりません。親元を離れ、遠く離れた慣れない国に渡り、家族の為に必死に働く彼らに、稲毛田さんは母国でもなかなか得ることのできない1人部屋を用意し、彼らの満足度を上げています。そして実習生は、それに答えるようにいきいきと明るくまじめに働いています。私はここに、人手不足解消のヒントがあるのではないかと考えました。



6/8(木) 牛久市商工会館
報告者: 八巻大介さん

(レポート: 池田裕兒さん)